

平成25年度第3回府中市障害者計画推進協議会

会議録

■ 日 時：平成25年9月13日（金） 午後2時～午後2時40分

■ 場 所：府中市役所北庁舎3階第3会議室

■ 出席者：（敬称略）

<委 員>

高倉義憲、下條輝雄、石見龍也、真鍋美一、古寺久仁子、山口真佐子、
諸隈一成、鈴木政博、桑田智、荒畑正子、河井文

<事務局>

福祉保健部：芦川部長、川田次長兼高齢者支援課長

障害者福祉課：松下課長、相馬課長補佐兼生活係長、大島給付係長、
高橋援護担当主査、石井、布目

地域福祉推進課：宮崎課長補佐兼福祉計画担当副主幹

生活構造研究所：尾羽沢、柏木

■ 傍聴者：1人

■ 議 事：1 前回会議録について（資料1）

2 調査概要及び調査票の修正点について（資料2～4）

3 グループインタビューの実施について（資料7）

4 今後のスケジュール及び次回日程について

5 その他

■ 資 料：資料1 平成25年度第2回府中市障害者計画推進協議会会議録（案）

資料2 アンケート調査に関する修正点まとめ

資料3 調査概要

資料4-1 障害のある人の調査 調査票（案）

資料4-2 難病患者調査 調査票（案）

資料4-3 障害者福祉団体調査 調査票（案）

資料4-4 障害福祉サービス事業所調査 調査票（案）

資料5 グループインタビュー調査計画（案）修正版

開 会

■事務局

本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。ただ今より、平成25年度第3回府中市障害者計画推進協議会を開会いたします。

議事に入ります前にお手元の資料の確認をさせていただきます。

(※ 資料の確認)

続いて、本日の会議ご欠席の委員の方をご連絡いたします。

本日は、杉本委員、山本委員、野村委員、崎尾委員、播磨委員、藤巻委員、見ル野委員からご欠席とのご連絡をいただいております。

ここから会長に進行をお願いいたします。

■会 長

第3回目を迎えました。7人の委員の方がご欠席ですが、本会の定足数は満たしているということなので、進めさせていただきます。

議事次第の順番に従って議事を進めていきたいと思いますが、会議の公開にあたり、傍聴希望者の方がいらっしゃいますので、入室していただきたいと思います。事務局、お願いします。

(傍聴者、入室)

それでは、傍聴の方が着席されましたので、早速、議事に入っていきたいと思います。

1 前回会議録について

■会 長

議事の1番、前回会議録について、事務局からご説明をお願いいたします。

■事務局

それでは、資料1についてご説明いたします。

本協議会平成25年度第2回会議の会議録(案)でございます。内容は記載のとおりでございますので、ご承認いただきましたら所定の手続きのうえ、会議録の公開を予定しております。ご確認をよろしくをお願いいたします。

■会 長

事前配布の資料ですので、皆さま目を通されたと思います。何かご意見・ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。

(※ 発言なし)

特になければ、事務局に所定の手続きに沿って、会議録の公開手続きをお願いしたいと思います。

2 調査概要及び調査票の修正点について

■会 長

議事の2番、「調査概要及び調査票の修正点について」、事務局からご説明をお願いします。

■事務局

それでは、まず、資料2をご覧ください。こちらは、アンケート調査に関する資料3・4について、前回会議等でいただいたご意見を反映した修正点をまとめたものでございます。記載のとおりでございますが、資料3・4と照らし合わせながらご説明いたします。

まず、資料3「調査概要」をご覧ください。こちらは、今年度第1回の会議にて資料9-1としてお示しした資料を、現在の内容に修正したものでございます。

2ページをご覧ください。調査種別について2点修正がございます。まず、調査1「障害のある人の調査」の身体障害者手帳所持者の抽出人数を、前回会議にて承認いただいたとおり、全体から1,700人、0～17歳から100人、18～59歳から200人といたしました。次に、調査3「障害者福祉関連団体調査」の対象について、「府中市からの補助金交付実績がある障害者福祉団体」を対象とする旨を追加いたしました。また、4ページ以降の各調査の調査項目(案)につきましては、これまでの協議の中で増減した内容を反映しておりますが、大きな修正といたしましては、調査2の難病患者調査について、住まい、相談に関する項目を追加したことがあげられます。

続いて、資料4-1～4-4の各調査票(案)の修正点についてご説明いたします。今回修正した部分は網掛けで記載しております。まず、調査票の1枚目に添付しておりますかがみ文をご覧ください。文言の修正がある他、表面「記入についてお願い」はフォントを少し大きくしております。また、今回、各調査に対応したかがみ文を作成しておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

調査票の中身につきましては、全調査に共通する部分として、設問の誘導に関する文言を追加しております。こちらは府中市福祉計画に関わる地域福祉分野・高齢分野と表記を統一しております。

続いて、各調査票の主な修正点についてご説明いたします。まず、資料4-1「障害のある人の調査」の12ページをご覧ください。問18を新問として追加しております。これは、地域福祉分野・高齢分野を含む府中市福祉計画全体として、市民との協働に関してご意見を伺う設問を追加するものです。また、問18の追加に伴い、問19の文言を修正いたしました。この修正により、問17・問18・問19において自助・公助・共助に関するご意見を伺うねらいがございます。災害に関する項目は難病患者調査にもございますので、同様に修正しております。

次に、資料4-2「難病患者調査」の3ページをご覧ください。「障害のある人の調査」に合わせ、住まいに関する項目を追加いたしました。また、4ページの問3も「障害のある人の調査」に合わせ、選択肢(11)を追加しております。

その他の修正点につきましては、資料2に記載のとおりでございますので、ご確認よろしくお願いたします。

■会長

委員の皆様からのご意見、ご質問を承りたいと思います。

■委員

障害のある人の調査、難病患者調査の障害福祉サービスに関する質問の箇所に、児童に関するサービスについての項目を追加していただきました。ここには「児童発達支援」という制度名が書かれているのですが、制度名が変わってから2年目であるため、これから利用する小さい子どもの保護者にとっては何のことか分かりづらいと思います。「児童発達支援」は主に幼児の方の通園であり、「放課後等デイサービス」は小学生以上の方が使われるものであるというように、もう少し具体的な説明を追加していただくとよいと思います。

■事務局

スペースの制限もあるので、事務局で検討させていただきます。

■会長

よろしくをお願いします。その他いかがでしょうか。

■委員

難病患者調査の問2(2)の「3. 障害のため家を借りるのがむずかしい」は、難病の方なので、「3. 難病のため・・・」の方がよいのではないのでしょうか。

■事務局

ご指摘のとおり修正いたします。

■委員

障害のある人の調査の問4は「何らかの介助を受けていますか」となっていますが、介助とサービスがごちゃごちゃにならないでしょうか。また、問14では「どなたに相談しますか」となっているが、「14. 相談する人がいない」、「15. 相談の必要はない」という選択肢があります。13番までの内容とは異なるので、別項目にするか、質問を修正しなければいけないと思います。

■会長

ご指摘の点は私どもで検討させていただいてよろしいでしょうか。

■委員

けっこうです。

■会長

その点も含め、何かございますでしょうか。

■委員

障害のある人の調査の問15には、「1. 府中市立心身障害者福祉センター きずな」とありますが、この施設の中に「み～な」、「あゆの子」が入っています。「きずな」と言っても、ピンとこない方が多いと思うので、括弧書きで「み～な」、「あゆの子」を追加したほうがよいのではないのでしょうか。

■会長

追加する方向で検討させていただきます。その他いかがでしょうか。どんな内容でもけっこうです。アンケートは日程の関係もあるので、早めに内容を確定させたいと思います。些細なことでもけっこうです。ご指摘いただければと思います。いかがでしょうか。

■委員

特にないです。前回の会議で意見した内容は追加していただきました。

■会長

資料4-1は「障害のある人の調査」ということで比較的やわらかい表現になっていますが、資料4-2は「難病患者調査」と少しかたい表現になっていますので、「障害のある人の調査」と同じようなかたちで事務局で検討していただきたいと思います。

■事務局

「難病のある人の調査」に修正するということがいかがでしょうか。

■会長

その案でよろしいでしょうか。

(※ 発言なし)

それでは、よろしく願いいたします。

その他いかがでしょうか。副会長は何かございますか。

■副会長

意見があった障害のある人の調査の問4の「何らかの介助」について、「1. 受けている」と回答した人は、問4-1、4-2に答えるようになっていきます。問4-1は「家族・親族・ボランティア等の介助」、問4-2は「公的なサービスによる介助」について聞いています。両方を含めて「何らかの介助」と言っているのです、このままでよいと思います。

■会長

その他、特にないようであれば、アンケート調査の概要及び調査票については、ほぼ皆さまのご承認が得られたということで取り扱わせていただきます。本日のご意見への対応、今後の事務作業の中で気づいた点については、正副会長と事務局にお任せいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(※ 発言なし)

ありがとうございました。

3 グループインタビューの実施について

■会長

議事の3番、「グループインタビューの実施について」、事務局から説明をお願いします。

■事務局

それでは、本日机上に配布いたしました資料5「グループインタビュー調査計画(案)」をご覧ください。前回会議でお示した計画(案)では、支援団体や施設を通じての調査を考えてお

りましたが、可能であれば当事者の方やその家族も含めて行ってほしいとのご意見をいただきましたので、そのご意見を踏まえて修正いたしました。「2 調査対象・調査項目」に記載のとおり、市内で把握している家族会や支援団体、支援施設の他、市内の福祉作業所等からご紹介いただける方にも参加していただきたいと考えております。

また、「3 調査方法」につきましては、1グループあたり5～7人程度の方にお集まりいただくかたちを予定しております。限られた条件の中で行いますので、十分にご意見を伺えないことも考えられるため、参加者の方には事前にアンケートにご記入いただいた上で参加していただくことを検討しております。このアンケートとは、資料5の調査項目にあげている内容を自由記述で記入していただくものです。また、参加を希望される方が多い場合にも、同様のアンケートに記入していただくことで参考とさせていただきたいと考えております。

本案について、ご協議をお願いいたします。

■会 長

ただいま事務局からグループインタビューの調査計画（案）についてご説明がありました。委員の皆様からご質問、ご要望を承りたいと思います。よろしく申し上げます。

■委 員

それぞれ既に支援団体があるようなので、把握しているかと思うのですが、発達障害をお持ちの方と高次脳機能障害をお持ちの方は何人ぐらいいるのでしょうか。

■事務局

申し訳ございません。すぐに数字が出ない状況です。

■会 長

副会長に質問ですが、あけぼのでは、高次脳機能障害をお持ちの方を何人ぐらい把握していますか。

■副会長

実人数として相談を受けている方は20人強です。

■会 長

ご質問のフィードバックはいかがいたしますか。

■委 員

けっこうです。

■会 長

その他いかがでしょうか。

■委 員

発達障害関係では調査対象に教育関係の方も入った方がよいと思います。また、高次脳機能障害関係では、施設職員は調査対象に入らないのでしょうか。

■会 長

1つ目は、発達障害関係では調査対象に別立てで教育関係者を追加してほしいというご要望で

すね。2つ目は、高次脳機能障害関係の支援施設ですね。

■委員

支援施設の中に「地域生活支援センター あけぼの」は入っていますが、高次脳機能障害の方が通っている実際の施設の職員も対象にしてほしいと思います。

■事務局

高次脳機能障害関係の施設職員の方について、追加することは可能です。発達障害関係の教育機関については、具体的には指導室だと思うのですが、よいご意見はありますでしょうか。

■委員

発達障害の方は学校に通っているので、直接関わっている先生方等で何らかの支援がほしいと思っている方がいるのではないかと思います。

■事務局

教育関係の方に連絡を取り、ご協力いただけるかどうか確認します。

■委員

協力します。通常学校にも特別支援学校にも、校長が指名した特別支援教育コーディネーターが必ずいるので、その方たちを調査対象に含めると具体的な情報が多く得られると思います。しかし、個人情報の関係があるので、出せる情報は限られてくると思います。

■事務局

ありがとうございます。

■会長

教育関係も調整をして、可能な限り今のご要望が満たされるようにしたいと思います。
その他にいかがでしょうか。

■委員

グループインタビューは手帳をお持ちでない方の声も吸い上げるという目的があるかと思うのですが、発達障害関係の方の当事者、ご家族は、手帳をお持ちでない方を選ぶのでしょうか。どのような基準で選ぶのでしょうか。

■事務局

基本的に手帳を持っていない方をお願いしたいと思います。

■委員

発達障害の方は精神保健福祉手帳をお持ちの方が多いです。愛の手帳を持っている方もいます。最近では高等部になると、どちらかを持っているケースが増えてきています。

■事務局

各機関に相談のうえ、手帳をお持ちでない小さいお子さんのご家族をお願いしたいと思います。

■会長

この件に関しては今の事務局の説明で進めていきたいと思いますが、よろしいですか。

(※ 発言なし)

その他いかがでしょうか。

ないようであれば、いただいたご意見、事務局からの回答を整理して、実施したいと考えております。今後また何かありましたら、正副会長、事務局で調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4 今後のスケジュール及び次回日程について

■会 長

次第の4、「今後のスケジュール及び次回日程について」、事務局から説明をお願いします。

■事務局

それでは、今後のスケジュールについてご説明いたします。本日、委員の皆様にご確認いただきましたアンケート調査に関する内容を、10月3日に開催されます府中市福祉計画検討協議会に提出いたします。府中市福祉計画検討協議会では、地域福祉分野や高齢分野で実施する調査についても確認を行い、調査概要や調査票を確定いたします。調査票の郵送は、10月下旬を予定しております。そして、11月中旬にかけて回収いたします。その後、アンケートの集計を行い、12月中旬から下旬にはアンケートの結果をお示しできるよう進めてまいります。

つきましては、本協議会の次回会議は12月に開催させていただきたいと存じます。日時が決定し次第、委員の皆さまにご出席をお願いいたしますので、ご多忙のところとは存じますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

■会 長

事務局から説明がありましたように、アンケート調査の集計が終わらないと、次回の会議の日程が決まらないということなので、速やかに事務局から調査の実施に関わる見通しを各委員にご連絡いただきたいと思います。その節には、ご出席をよろしくお願いいたします。

5. その他

■会 長

次第の5、「その他」について、事務局から何か連絡事項等ありましたら、よろしくお願いいたします。

■事務局

特にございません。

■会 長

委員の皆さまから、何かご質問・ご要望はございますか。

(※ 発言なし)

皆さまのご協力ありがとうございました。これを持ちまして、第3回の協議会を終了させていただきます。

以上